

消 防 年 報

2 0 2 0 年 版



大魚神社の海中鳥居（太良町 栄町地区）

杵藤地区広域市町村圏組合
消 防 本 部

<http://www.kitou-web.jp/syoubou/>

【表紙の説明】

太良町は、佐賀県の南に位置しており、西には緑あふれる多良岳山系の峰々、東には豊饒の海・有明海をのぞみ、豊かな自然が織り成す鮮やかな四季の彩の中で、その恩恵を受けながら歴史が刻まれてきた町です。

表紙の写真は、太良町大字多良の栄町地区にある大魚神社の海中鳥居であり、2017年12月に佐賀県遺産に登録されました。マスメディア等にも取り上げられ、全国的にも知られるようになりました。

この大魚神社の海中鳥居には次のような話があります。

昔、この地には悪代官がいて里人に憎まれていた。村人たちはこの悪代官を懲らしめようと、酒に酔わせ有明海に浮かぶ沖ノ島に置き去りにした。満潮時には沈んでしまうこの島に残された悪代官は、自分の行いを悔い神に祈った。すると大きな魚があらわれ、代官はその魚の背に乗って無事帰ってくる事ができた。悪代官はそれ以来改心し、その魚を大魚大明神として祀り、その奉賛として木の鳥居を建てた。と言われてい

ます。

干満差が最大6mにもなる有明海に建立する3基の海中鳥居は、満潮時には大半が浸かるも、干潮時にはその下を歩くことができます。

朝夕夜、太陽や月明かりによっていつ見ても飽きさせない景色は、神秘的なスポットとして多くの方を魅了しています。

は し が き

近年、社会経済のめざましい発展により地域住民の生活環境は年ごとに都市化するとともに情報化、高齢化等への進行も著しいものがあり、これに伴い各種災害の発生も年々増加し、災害の様相もますます複雑多様化してきました。

このような状況の中で、安全で住みよい地域社会の確立のため予防、救急、救助、通信指令体制の充実、消防防災施設の充実強化に努めているところであります。

この年報は、杵藤地区広域市町村圏組合における消防の現勢及び令和元年度中の消防業務全般について収録し、消防行政の参考に資するとともに、消防事情を紹介するため編集しました。

令和 2 年 7 月

杵藤地区広域市町村圏組合消防本部